

地方公共団体名	愛知県安城市
所属部局 担当者名	産業環境部 環境都市推進課 担当：小野 達也
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>本市は自動車をはじめとする世界的なものづくり産業が集積する地域であり、製造業などの産業分野から排出されるCO₂が多いという特色がある。「SDGs 未来都市・安城」ならではのウェルビーイングな脱炭素社会を目指す本市として、カーボンニュートラルの実現に向けて、暮らし、産業、森の恩恵をつなぐ脱炭素に対する意識の醸成は、環境面での課題であるとともに広く製造業の恩恵を受ける地域としての「使命」である。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>第8次総合計画にて「^{けんさち}健幸」を掲げ、心も体も健康で幸せにすごせるまちを目指しているが、現状として自家用車の所持率が高く車移動が中心である。また都市機能では、JR 安城駅周辺の都市拠点における賑わいの低下や、広域拠点である三河安城駅周辺の都市機能の陳腐化が始まるなどの課題が存在している。</p>
事業の目的	市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち
事業の概要	・高層マンション、オフィス、公共施設に加

	<p>え、農地が存在し、交通の拠点でもある新幹線三河安城駅周辺を脱炭素先行地域として設定し、「公民連携でまちをつかい、資源・エネルギー、おかねが循環する脱炭素なまち」を目指す。また同時に、街路・公園・広場等の既存ストックの修復・利活用により、歩いて移動したくなるような魅力ある地域にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この三河安城エリアを「モデルエリア」とし、同様の取組みを市内全域に広げていきたい。
<p>企業に求めたい内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既設住宅・建築物の脱炭素改修・ZEH/ZEB化 ・地域内もしくは地域外での再エネ発電設備の整備 ・市民や事業者への効果的なPR手法 ・農業分野での脱炭素化（スマート農業） ・資源、エネルギーの地域内循環